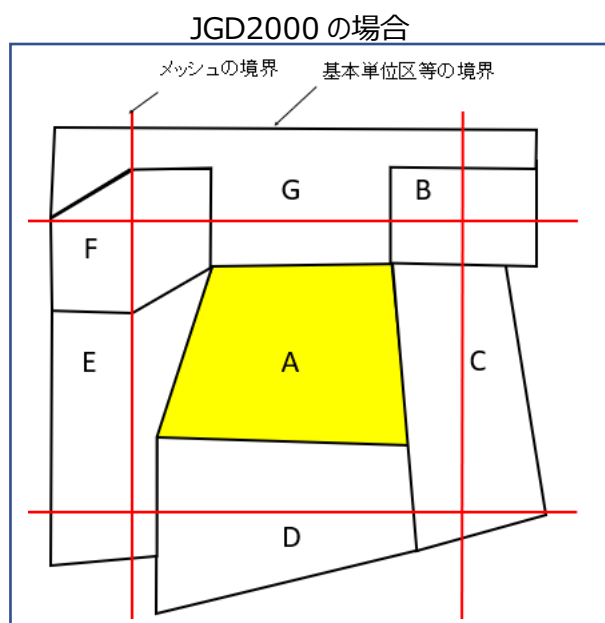


世界測地系の改定による地域メッシュ統計の結果について

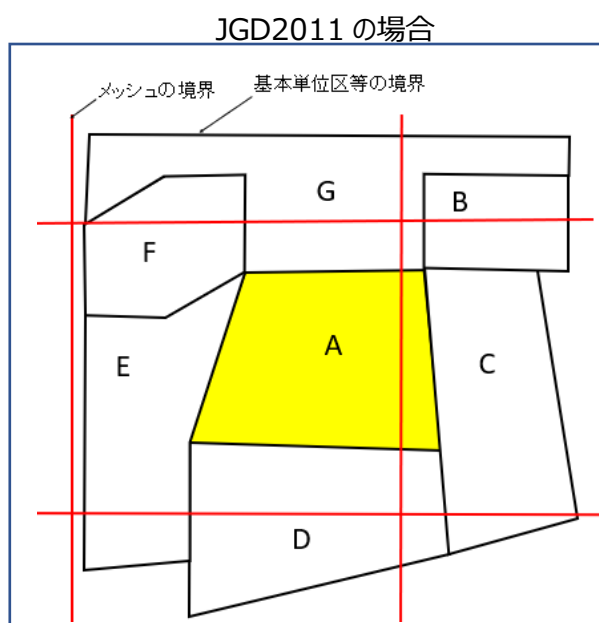
地域メッシュ統計は、各地域メッシュの区画に、当該地域の統計データを対応させて作成します。したがって、地域メッシュ統計を作成するには、データの属する地域（基本単位区の境界情報、所在地等）がどの地域メッシュに対応するかを決める必要があります。この対応地域メッシュを決める業務を「同定」といいます。

令和2年国勢調査及び令和3年経済センサス-活動調査に関して、世界測地系（JGD2000）と世界測地系（JGD2011）のそれぞれで同定を行い、地域メッシュ統計を作成したのは、下の図のように結果に違いが生じるものがあるためです。

【令和2年国勢調査：基本単位区等 A を例として解説】

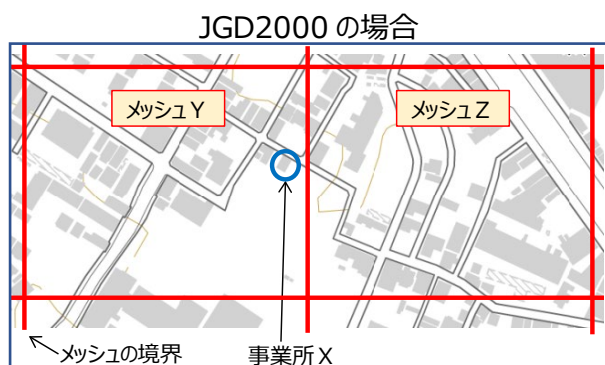


基本単位区等 A が全て一つの地域メッシュ枠内に収まるため、該当する地域メッシュに同定

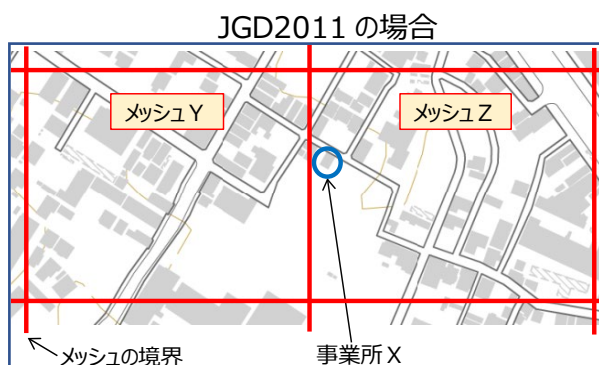


基本単位区等 A が二つの地域メッシュにまたがるため、分割された各区域に割合等に応じて同定

【令和3年経済センサス-活動調査：事業所 X を例として解説】



事業所 X は地域メッシュ Y に同定



事業所 X は地域メッシュ Z に同定

上記の同定方法は一例です。同定方法の種類等、地域メッシュ統計の作成の詳細については、総務省統計局ホームページ（<https://www.stat.go.jp/data/mesh/gaiyou.html>）に掲載している「地域メッシュ統計の作成（PDF：667KB）」をご覧ください。